

■「プレゼンテーション」の汎用ルーブリック（評価基準表）

ルーブリックタイプ②

(1) ルーブリックは「評価基準表」とも呼ばれるもので、本講義内で受講者に課される「プレゼンテーション」の学習成果を評価するために使用します。

(2) 表をよく見て「どのようなプレゼンテーションが評価されるのか」を理解し、毎回の講義や授業内外の学習、次の学習課題の発見に役立ててください。自分の学習の質を高めるための参考にしましょう

観点（規準）	観点の説明	S（秀）	A（優）	B（良）	C（可）	F（不可）
		到達目標を大きく越えた基準で達している	到達目標を越えた基準で達している	到達目標に標準的な基準で達している	到達目標に最低限の基準で達している	到達目標に達していない
主張・論点の提示	主張や論点を明確にテーマに沿う形で提示しており、伝えたい内容の要点をまとめているかを評価するための項目。	主張や論点を明確にテーマに沿う形で十分に提示しており、伝えたい内容の要点を過不足なくまとめている。また、主張の独自性も高い。	主張や論点を明確にテーマに沿う形で十分に提示しており、伝えたい内容の要点を過不足なくまとめている。	主張や論点を明確にテーマに沿う形で提示しており、伝えたい内容の要点をまとめている。	主張や論点とテーマとの関連が認められるが、明確でない形で提示している。	主張や論点とテーマとの関連が認められず、主張や論点が不明である。
プレゼンテーションの内容・構成	プレゼンテーションを構成する内容（効果的に主張するための順序や表現）を評価するための項目。	プレゼンテーション全体を通して、筋道の立った順序で明確に話しており、準備段階で十分なリハーサルを行った成果が見られる。	プレゼンテーション全体を通して、筋道の立った順序で明確に話している。	プレゼンテーション全体を通して、筋道の立った順序で話している。	プレゼンテーション全体を通して、一部筋道の立った順序で話している。	筋道の立っていない順序で話している。
視覚情報・資料の扱い	プレゼンテーションに使用する視覚的な道具（ツール）の使用法・使用意図を評価するための項目。	視覚的な情報や資料を効果的に扱っており、伝えたい内容を明確にわかりやすく提示している。		視覚的な情報や資料を効果的に扱っており、伝えたい内容をわかりやすく提示している。	視覚的な情報や資料を一部必要に応じて扱っているが、ツールの選択や使用に不適切な点がある。	視覚的な情報や資料を扱っておらず、効果的に内容をプレゼンテーションできていない。
態度	プレゼンテーションに臨む話者の態度を評価するための項目。	話者の発表態度がプレゼンテーションの内容を説得的にしており、聴衆の反応を見ながら自信をもって伝えている。	話者の発表態度がプレゼンテーションの内容を説得的にしており、自信をもって伝えている。	話者の発表態度がプレゼンテーションの内容をある程度説得的にしている。	話者の発表態度がプレゼンテーションの目的・聴衆との関係に応じた態度で話している。	プレゼンテーションの内容が伝わりづらい発表態度で話している。あるいは、話者の発表態度に聴衆に対する不誠実さが見られる。